



最終回・第1期協力隊員は任期が終了します

平成31年3月末日を持ちまして、笛吹市地域おこし協力隊の第1期隊員2人は、任期満了となります。木村は3年間、八木は2年4カ月、地域の皆さんにお世話になりながらここまで活動することができました。

初年度は県外から移住したばかりの中、手探りでの活動となりました。木村は市役所内の移住定住担当に属しながら、地域について学びました。その傍ら、自らの移住経験を首都圏に住む人々に伝えることで、笛吹市の魅力を発信する活動を行いました。

八木は市内の農事組合法人に属し、桃やぶどうの栽培方法について学びました。この経験を基に、県外の就農希望者の相談に乗ることもありました。

2年目以降は、退任後を見据えた活動も始めました。市内の未熟ぶどうを使って開発した「マスタード」に関する活動は、総務省の「地域おこし協力隊ビジネスアワード」を受賞することができました。



退任後は2人とも引き続き笛吹市に住みながら、任期中にベースを作った事業を行う予定です。これまで温かく見守っていただいた地域の皆さんに改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。なお、今後のメイン活動である「笛吹マスタード工房」に関する情報は公式サイト (fuefuki-mustard.com) で発信します。ぜひご覧ください。このコラムは一旦終了となりますが、今後も笛吹市民として地域を盛り上げていきたいと思えます。よろしくお願います。